

# 第3回福山市地域コミュニティのあり方検討委員会

2019 年（令和元年）10月28日



# 【本日のスケジュール】

## 1 前回の振り返り・説明 (19:30～19:45)

- ・第2回検討委員会の振り返り
- ・本市の地域組織の現状について

## 2 講演 (19:45～20:15)

「人口減少時代の地域コミュニティをえがく」

福山市持続可能な地域コミュニティ形成に関する政策アドバイザー  
高崎経済大学地域政策学部地域づくり学科 教授

講師 櫻井 常矢さん

## 3 意見交換 (20:15～20:50)

地域組織のあり方について

## 第2回検討委員会「ワークショップ」の振り返り(その1)

いら ない もの	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 煩雑な事務手続(補助金の申請や報告の手続) →貴重な税金なので使途は明確にしなければならない。</li><li>・ バラバラな申請, 相談窓口(たらい回し)</li></ul>
足 り な い もの	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報(各種助成・支援, 補償制度の詳細なPRが必要)</li><li>・ 学区と市の意見交流会</li><li>・ 高齢者へのタクシー券配布方法の見直し(民生委員活動が負担)</li><li>・ マンション住民が自治会加入する仕組み</li><li>・ 事業継続のための財源, 各種団体への補助金(使途の見直し含む)</li><li>・ 人材(動く人, つなぐ人, 仕組みをつくる人, コミュニティソーシャルワーカー, 生活支援コーディネーター等)</li><li>・ 相談できる部署</li><li>・ ファクシミリ設置, Wi-Fi設備, 電子町内会等</li><li>・ 活動する人の特典(有償ボランティアの仕組み, 交通費等の活動費)</li></ul> <p style="text-align: right;"><b>人・物・金・情報・知恵</b></p>

## 第2回検討委員会「ワークショップ」の振り返り(その2)

あったらいいと思う支援

- 公民館体制の充実(地域のまちづくりを支える力)
- 公共施設の設備の充実(ファクシミリ, Wi-Fi設置)  
➤ITの活用も必要だが, 人とつながる(会う)ことも必要であり, バランスが重要
- 書式の改善(市へ提出する書類は難しい)
- 自治会加入支援(特にマンション), 自治会加入について条例化
- 防災意識の高揚(普段からの声かけ)
- 隣近所や人と人とのつながりの大切さを行政がアピール
- バラバラな窓口(申請・相談)を統一
- 経験者を育てるシステム作り(人財大学の出前講座等)
- 助成金, 補助金等
- 「つなぐ人」「仕組みをつくる人」「専門性のある人」の育成, 派遣
- 活動する人への特典(有償ボランティアの仕組み, 交通費等の活動費)
- 活動できる場
- 活動できる設備(プロジェクター, レコーダー等)
- LED防犯灯取替時の補助制度

やはり・・・  
人・物・金・情報・知恵

みんなが楽しい地域とする(目的)ためには・・・何に取り組む(手段)ますか？

# 【1分間スピーチ】

所属している組織について、次の3点を簡単に合計1分間でお話してください。

*cf. NHKのアナウンサーの話す速度:300字/分*

- ① 設立目的
- ② 今までの活動内容
- ③ 今後、求められている活動  
〈地域づくり塾参加者の方は〉  
(全市組織)にしてもらいたい活動

# 例

※以下の文章で136字です。もう少ししゃべれそうですので、②のところで具体的な取り組み例を話すとか、③のところで今考えている新たな取り組みを話すとか、**1つくらいエピソードを入れる**とちょうど良い文字数になるかと思います。

- ① 私が所属している組織は 地域の課題解決や住民福祉の向上などを目的に設立され、
- ② 今まで地域の絆づくりや安心・安全のまちづくり活動などに取り組んできました。
- ③ (私が所属している全市組織)は、今後は学区同士をつなぎ活動を活性化させたり、課題解決に導く対応が求められていると考えています。